

中間台木品種がにほんなし「筑水」の生育に及ぼす影響							
[要約] 「筑水」を苗木から育成する場合に、 <u>中間台木</u> を入れると樹体生育が劣り、収量が少なくなる。高接ぎの場合、中間台木は「幸水」が比較的良好である。							
三重県農業技術センター・栽培部・果樹栽培担当						連絡先	05984-2-6358
部会名	果樹	専門	栽培	対象	果樹類	分類	研究

[背景・ねらい]

「幸水」偏重の品種構成を改善するために、「筑水」を導入することが有利であると考えられるが、「筑水」は樹勢が弱く小玉果となりやすいため、樹勢や収量に及ぼす中間台木の影響を検討する必要がある。

[成果の内容・特徴]

1. 中間台木を入れずに長さ10cmの満州豆梨台木に直接接ぎ木をした「筑水」の生育が最も良好で、収量が最も多い。(表1)
2. 高接ぎする場合は、中間台木が「幸水」の生育が最も良好で、収量が最も多い。(表1)
3. 果重と果実品質は中間台木の種類による差はない。(表2)

[成果の活用面・留意点]

1. 「筑水」を苗木から導入する場合には、中間台木を入れずに台木に直接「筑水」を接いだ苗を用いる。

[具体的データ]

表1. 中間台木品種が「筑水」の樹体生育と収量、果重に及ぼす影響

中間台木品種名	幹		周	収量 (kg)	果重 (g)
	平成3年4月 (mm)	平成7年12月 (mm)	肥大率 (%)		
新 水	69	205	297	12.3 <sup>bcd</sup>	249
長 寿	62	181	292	11.2 <sup>bcd</sup>	240
幸 水	69	206	299	15.6 <sup>ab</sup>	258
長 十 郎	70	160	229	10.1 <sup>cd</sup>	230
豊 水	68	176	259	8.4 <sup>d</sup>	242
二 十 世 紀	65	176	271	11.2 <sup>bcd</sup>	251
パートレット	66	196	297	9.1 <sup>d</sup>	263
無 処 理 1	66	178	270	14.0 <sup>bc</sup>	251
無 処 理 2	61	231	379	19.1 <sup>a</sup>	243
有 意 性	—	—	—	*	NS

注) 平成元年4月に、1年生苗木に「筑水」2芽を接ぎ木

無処理1は中間台木なしで、満州豆梨台木の長さが50cm

無処理2は中間台木なしで、満州豆梨台木の長さが10cm

収量は平4～平7の4カ年の合計、果重は平4～平7の4カ年の平均

表2. 中間台木品種が「筑水」の果実品質に及ぼす影響 (平4～平7の4カ年平均)

中間台木品種名	果色 (CC)	硬度 (lbs)	糖度 (%)	pH
新 水	2.8	4.7	13.4	5.36
長 寿	2.4	4.7	13.6	5.31
幸 水	2.7	4.9	13.6	5.31
長 十 郎	2.6	4.7	13.6	5.30
豊 水	2.7	4.8	13.5	5.36
二 十 世 紀	2.6	4.7	13.3	5.36
パートレット	2.7	4.7	13.6	5.28
無 処 理 1	2.6	4.7	13.3	5.32
無 処 理 2	2.6	4.5	13.4	5.33
有 意 性	NS	NS	NS	NS

[その他]

研究課題名：消費者ニーズに対応したニホンナシ新品種導入による安定栽培体系の確立

予算区分：地域重要

研究期間：平成7年度(平成3～7年)

研究担当者：輪田健二